

不織布付ジオテキスタイル

耐流速
3m/s

川表

川裏
越水対策

調整池

グリットシーバーV3

Aタイプ

Bタイプ

ジオテキスタイルによる補強効果と全面に一体化させた不織布による吸い出し抑制効果により、安定した早期緑化を実現します。

Aタイプ ネット + 不織布 + 種子 + 肥料

一工程で緑化と補強が可能。

グリットシーバーV3張付後、覆土をすることにより早期に安定した緑化を実現することができます。

高津川
【島根県】



Bタイプ ネット + 不織布

他工法と組み合わせが可能。自然石護岸工との併用や植生待ち受け型としても施工できます。



Bタイプに覆土し張芝を施工した例

施工手順

グリットネット張付工(端止工部)

整地・地ごしらえ

グリットシーバーV3展開

ハイブラ杭打設

ネットピン取付け

止め釘打設

覆土

植生工

■ は共通項目 ■ はAタイプのみ ■ はBタイプのみ

構成材料

グリットシーバーV3



グリットネット		不織布	製品規格				
グリット目合(mm)	基布		長さ(m)	幅(m)	ネット	備考	
8×8	ポリエステル (アクリル被覆)	ポリエステル	Aタイプ	10.00	1.05	2本/包(20㎡)	種子・肥料付
			Bタイプ	10.00	1.05	5本/包(50㎡)	

● 天端部および堤脚部の処理

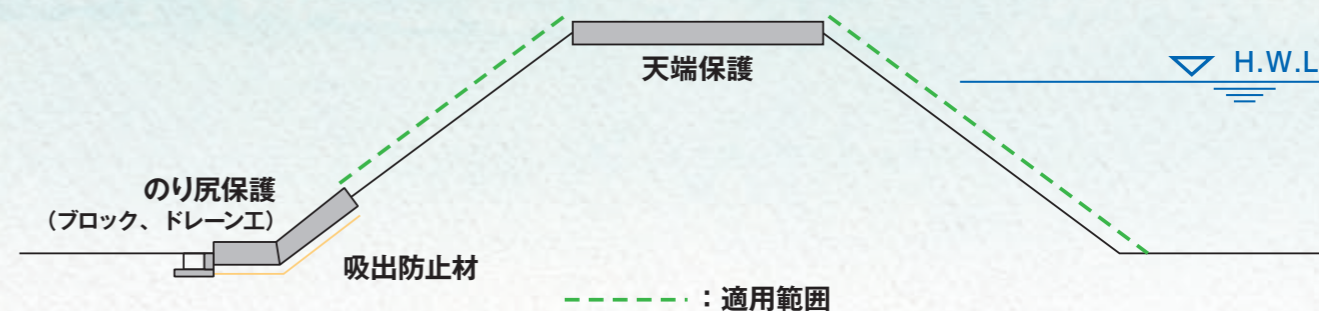
天端部及び堤脚部を10cm程度超える位置でグリットシーバーV3を切断します。端部については初期めくれが発生しない様、10cm程度堤体内に埋め戻しを行います。

● 上流および下流端部の処理

上流および下流端部には、階段工や端止めコンクリートを設けグリットネットを敷き込みます。グリットシーバーV3敷設後、グリットシーバーV3を覆うようにグリットネットを折り返します。



適用範囲



- ・流速3.0m/s未満
- ・1:2.0より緩い箇所 (覆土が安定しないため、1:2.0より緩い箇所での適用を推奨)
- ・川表では、平水位以下に寄せ石・かごマット等を併用する。
- ・川裏では、のり尻にブロック等を併用する。

災害地での事例

令和元年東日本台風
台風19号

Aタイプ 相野谷川【茨城県】

施工後7ヶ月が経過し、大部分が緑化されていたところに、台風19号が通過しましたが、被害はありませんでした。水際に近い箇所には植生がなく、この高さまでは頻繁に水に浸かっていると考えられます。

水際のアップ



Aタイプ 原高野川【福島県】

台風19号の影響により、グリットシーバーV3の施工箇所まで水位が上昇しました。上流端部は増水時には水衝部となる箇所であったため、前面に袋詰め玉石を施工し、直接水が当たらないよう設計されていました。(写真1)台風通過後、上流端部を含めてめくれ等の被害はありませんでした。

写真1：上流端部



赤枠内：グリットシーバーV3 施工箇所

グリットシーバー

イノセイバー

グリットシーバー F-72

グリットシーバー V3

キョーリョッカー 21

タフトガード

グラストロング

芝生管理